

日野町森林・林業振興ビジョン

～10年後（令和12年度）へ向けて～

町では、「未来を担う人づくり」「未来につなぐ森林」「森林資源を活かす町づくり」を3本のテーマとして、その目指すべき姿を示した上で、多様で健全な森林づくりの実現に向け、基本目標及び具体的施策の推進方向を明らかにした「日野町森林・林業振興ビジョン」を作成しました。

今後は、このビジョンを基に、森林を健全な形で次世代に引き継ぎ、林業及び木材生産を将来にわたり持続的に発展させていくため、森林・林業の更なる活性化を図ります。



テーマⅠ

未来を担う人づくり

10年後の目標

- ◆町内森林組合就業者数
42人（令和2年度：28人）
毎年、新規林業就労者2人確保
（隔年にて退職者等1人）
- ◆若年層を対象とした体験学習等の実施事業数
6事業（令和2年度：3事業）

〈目標達成へ向けた取組〉

- 1 林業事業体のリクルート活動を支援
・就学時給付金制度、インターンシップ受入補助制度等の支援
- 2 新規林業就労者の移住定住を支援
・家賃補助制度等の支援
- 3 林業を志すきっかけとその土壌を育むため、若年層を対象とした森林体験学習等を推進

テーマⅡ

未来につなぐ森林づくり

10年後の目標

- ◆素材生産量
25,000m³（令和2年度：6,900m³）
- ◆森林整備面積
令和12年度（令和2年度）
皆伐 35ha（1ha）
搬出間伐100ha（88ha）
切捨間伐 50ha（2ha）
- ◆森林の二酸化炭素吸収量
30,000tco₂（令和2年度：18,000tco₂）

〈目標達成へ向けた取組〉

- 1 採算性のある木材生産に向けた人工林は、「生産林」として、より生産性の高い単層林等へ誘導
・少花粉スギや早く収穫できる早生樹等、社会的ニーズに応じた、より生産性の高い特定苗木による皆伐再造林を推進
・高性能林業機械やスマート林業機器導入を支援
・林業専用道等の林業基盤整備を支援
- 2 採算性のない木材生産に向かない人工林は、「環境林」として、災害リスクと管理コストが低い針広混合林等へ誘導
・森林経営管理制度を活用し、手つかずの森林の整備を推進し、災害に強い森林づくりを図る

テーマⅢ

森林資源を活かす町づくり

10年後の目標

- ◆採石場跡地への木材団地参画企業（令和2年度）
参画企業内定（令和2年度：未定）
- ◆森林認証及びJ-クレジットの取得森林面積
100ha（令和2年度：0ha）
- ◆生産林の所有権受入団体数
1団体（令和2年度：0団体）

〈目標達成へ向けた取組〉

- 1 森林資源を有効活用し、地域振興を図るため、林産業拠点の創出を図る
・採石場跡地への参画企業募集（R15供用開始）
- 2 森林資源の付加価値を高め、環境保全へ貢献する
・森林認証及びJ-クレジットの取得
- 3 森林を地域で守り、育てる組織体制づくり
・未来の森林づくり協議会等の開催
・所有権移転に係る受入組織の創設

